

会議等結果報告書			
会議区分	会議・打合せ・協議	文書番号	90
		決裁期日	令和元年6月6日
名称	第1回上富良野町協働のまちづくり推進委員会		
日時	令和元年5月29日（水） 18時30分～20時48分		
場所	役場3階 第3会議室		
出席者	協働のまちづくり推進委員10人（別紙名簿のとおり） 石田副町長 事務局：町民生活課 北越課長、自治推進班 床鍋主幹、大井主事 合計14人		

**[進行：事務局（町民生活課長）]**

◎ **委嘱状交付**

石田副町長から、委員3名に委嘱状を交付。

※沼澤委員欠席のため代理人へ交付。その後退席。

◎ **副町長あいさつ**

先ほど3名の委員の方へ委嘱状を交付させていただきました。任期は来年の3月末となっている。よろしくお願ひしたい。

平成20年に自治基本条例が制定され、平成21年から第5次総合計画がスタートした。その中で、「協働のまちづくり」はまちづくりの大きな視点として取り組んできた。春からは第6次総合計画がスタートし、こちらでも「協働のまちづくり」をまちづくりにおいて最も重要な視点としている。町民をはじめ、町の様々な活動団体、事業者が連携し、それぞれ割り振られた責任、持ち合わせた能力が最大限に発揮されながらまちづくりを進めていくことが重要と認識している。第6次総合計画に掲げた将来像「暮らし輝き 交流あふれる 四季彩のまち」の実現に向けて、これからも協働のまちづくり推進委員の皆様のお力添えをお願い申し上げる。

◎ **会長あいさつ**

元号が変わり、委員が変わって初めての委員会となる。皆さんの貴重なお時間に集まっただけいるため、皆さんにとって有意義な時間となるよう、一生懸命努めたい。皆さんのご協力をお願いしたい。

※石田副町長退席

**[進行：持安会長]**

◎ **自己紹介**

新しく委員となった田中委員と黒川委員より自己紹介。

## 〈説明・報告〉

### 1 説明案件

#### (1) 協働のまちづくり推進委員会の経過

#### (2) 会議の進め方について

事務局（床鍋主幹）より資料1及び2に基づき説明。今回新しく委員となった方がいることから、委員会の経過や協議事項、会議の進め方などを説明した。

### 2 報告案件

#### (1) 平成30年度協働のまちづくり推進補助金実績

#### (2) 平成30年度まちづくり事業について

12月14日 まちづくりフォーラム「かみふっていいな…♥vol4」

2月28日 まちづくりフォーラム「未来を語ろう！」

事務局（床鍋主幹）より資料3に基づき説明。また、上記のまちづくりフォーラムについて結果を報告した。

## 〈議 題〉

### 1 今年度の取り組み内容（案）について

#### (1) 協働のまちづくり概要版の見直しについて

持安会長：話し合いの場づくりのような内容を概要版の中に組み込んでどうか。文字を減らし、イラストを入れたものでA3版1枚で考えている。

また、概要版も改めて見ると意外といいので、見直しはせずに新たなものを作ってはどうかとも思う。自治基本条例は一昨年に見直したが、基本指針は見直していないため文言の微調整をする必要がある。文言を修正し、さらに協働について踏み込んだチラシを作成したい。

菊池委員：文言ではなく行動が大切。そのためには町が何をしたいのかがわかっていなければ、何が問題でどうしたら解決でき、行動に移せるのか、その部分がない気がする。町が委員会に何をしてほしいのかがわからないため、協働のまちづくりの事案みたいなものがあればわかりやすくなる。

松藤委員：概要版には「行政はみんなの意見を聞いてから始める」とあるが、行政から提案してもらった方がやりやすいと思う。

角波委員：概要版の文言を変えていけばいいのではないか。

田中委員：同じ目線で話し合いができるかが重要。考え方に温度差があってはまともまらないため、提案する方が格差をなくすよう進めると気づきやすいし、やりやすいのでは。一方通行ではなく、双方の意見を合わせて温度差をなくすといい。

井上委員：協働のまちづくり推進補助金の周知をもっと行い、たくさん新規の事業が申請され、プレゼンを行うくらい盛り上がると面白い。アイデアを持っている若い人は多くいる。

柴田委員：他の町の概要版を参考にして、今の概要版と合わせたようなものあればいいと思う。イラストは変えた方がいいのでは。

持安会長：概要版は内容の中の経年変化部分を直すことでいいか。

柴田委員：概要版をベースにして、新しいものを考えている。

黒川委員：町民の声を聴き、吸い上げるためアンケートもある。文化的なところでは、図書館の本は古いが感性を育てるためには新しい情報を本から得ることもあると思う。

菊池委員：内容について、特に商工会では状況やニーズが全く変わっている。高齢者が多くなっており、無償の労働力として期待されると手を引いてしまう。

持安会長：協働のまちづくりは自分たちのまちを住みやすくするために何をすべきかを考え、話し合っ、自分たちでできることは自分たちで行い、できないことは行政に相談し、お互いに助け合っていくことだと思っている。

菊池委員：実際にはそうはならない。ただ労働力として期待するだけではダメ。行灯も商工会では体力的に参加できる人が少なく、自衛隊にお願いしており、そういったところでも協働がうまくいっていない気がする。

持安会長：年に5回程度の推進委員会だけでは作成は困難であることから、作成準備委員会を立ち上げることにしたいがどうか。

委員：了承する。

持安会長：このことから準備委員会を設置することとし、メンバーは持安会長、水島副会長、柴田委員、黒川委員とする。現在の概要版をベースにしなが、他町のチラシも参考に取り入れた新たなものとする。次回の会議で素案を示し、完成は3月予定。

## (2) 町長との情報交換について

持安会長：2月28日のフォーラムの結果報告を町長と情報交換しながら伝えたい。添付の結果報告書は私が作成したものである。要望や苦情ではなく、町民の意見を情報提供したい。司会進行は会長が行い、時間は1時間程度と考えている。結果報告書を読んでいただけたか。どのように情報交換を進めていくか意見があればいただきたい。

委員：意見なし。

持安会長：意見がないようなので私から提案すると、結果報告書の「10年後の理想のかみふ」から①「かみふ」農産物を守る町、②移住者に寛容な町、「上富良野ってどんなまち」から③安全・安心な美味しい農産物の町（赤えんどう日本一の町）、④新規就農厳しい町、「10年後の理想をかなえるために」から⑤移住者の声を活かして人口増加、⑥町外への軽易な情報発信、⑦地産素材特産品の開発に力を結集の7つについて情報提供したい。

日程はどのようにするか。

床鍋主幹：6・7月は町長の日程も予定が入ってきており、8月の委員会に合わせはじめの1時間を使うこともできる。

持安会長：事務局提案の日程とする。テーマをどうするか。

森本委員：先ほど会長が提案した7つの項目はどうか。

持安会長：それで了承していただけるなら、その中のひとつである移住者の方の声を町長に伝えるため、移住者の方と話し合いの場を持ちたいと考えているがどうか。

委員：反対の声なし。

持安会長：皆さんから移住者の情報をいただきたい。また、話を聞く際には自分の他にも委員に同席をお願いする。懇談会の日程は全委員に案内するが、日程や内容などの詳細は会長、水島副会長、井上委員、柴田委員で決めたいと思うがどうか。

委員；反対の声なし。

### (3) まちづくりフォーラムについて

持安会長：今年度のまちづくりフォーラムも2回開催予定と事務局から聞いている。今年度は12月にワークショップ形式で、2月にまちづくりの活動報告会として開催したい。昨年度は12月にまちづくりの活動報告会だったが、まだ事業が終わっていない場合があるため、昨年と開催時期を逆にした。12月のワークショップは前年度同様、ワールドカフェ方式で行い、講師も「NPOファシリテーションきたのわ」の宮本奏さんをお願いする。

また、今回も前回同様、委員会の中だけでは内容等を考えていくことは難しいので、会長、水島副会長、井上委員、柴田委員、黒川委員で準備委員会を立ち上げ、準備を進めることとしたいがどうか。

委員：反対の声なし。

持安会長：準備委員会により進めることとし、その内容は委員に都度お知らせしていく。

## 2 その他

### 次回会議について

次回会議は、8月20日（火）又は21日（水）町長の日程が空いているどちらかで18時30分から役場3階第3会議室で行う。

18時30分から1時間程度で町長との情報交換を行い、その後協働のまちづくり推進委員会を行う。

### ◎ 副会長あいさつ

令和になって初めての協働のまちづくり推進委員会で、皆さんの活発なご意見をお聞きして心強く思っている。今年度より新たに3名の委員に参加いただき、新たな風が吹くのではと期待している。私も皆さんの意見についていけるように頑張りたいのでよろしくお願ひしたい。

【会議録は決裁終了後、行政ホームページで公開】